

1 右のグラフを見て、次の各問いに答えなさい。

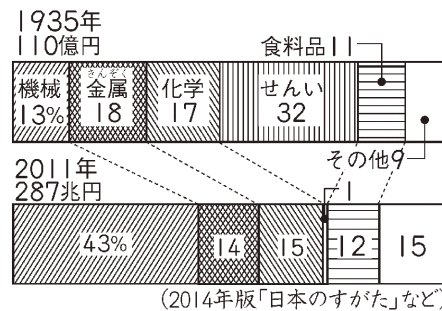
(1) 1935年に最も工業生産額が多かった工業は何ですか。グラフから書きぬきなさい。

(2) 2011年に最も工業生産額が多かった工業は何ですか。グラフから書きぬきなさい。

(3) 1935年に比べて、2011年の工業生産額は約何倍になりましたか。次のア～エから1つ選び、記号で答えなさい。

- ア 約2.5倍 イ 約25倍
ウ 約250倍 エ 約25000倍

日本の工業の種類別生産額の割合



(1)	せんい	工業
(2)	機械	工業
(3)	工	

- (1) 1935年と2011年を比べると、せんい工業の割合は、32%から1%に減ってしまいました。しかし、工業生産額が大きのびているので、せんい工業の生産額も増えています。
- (2) 機械工業の割合は、1935年の13%から、2011年には43%にのびました。
- (3) 1935年は110億円、2011年は287兆円です。単位に注意しましょう。

2 次の①～⑤の工業について、あとの各問いに答えなさい。

① 金属工業	② 食料品工業	③ 化学工業
④ 機械工業	⑤ せんい工業	

(1) ①～⑤の工業の製品を、次のア～オから1つずつ選び、記号で答えなさい。

- ア かぜ薬 イ Tシャツ ウ 電子レンジ
エ ケーキ オ アルミ缶

(2) ①～⑤を軽工業、重化学工業に分けて、番号で答えなさい。

(1)	①	オ
	②	エ
	③	ア
	④	ウ
	⑤	イ
(2)	軽工業	②・⑤
	重化学工業	①・③・④

- (1) ① 金属工業は、鉱産資源から鉄や銅、アルミニウムなどをつくり、製品に加工します。
② 食料品工業は、農畜産物や水産物を材料に、食べるものをつくります。缶詰や冷とう食品をつくるのも食料品工業です。
③ 化学工業や、石油や塩などを化学変化させ、製品をつくります。
④ 機械工業は、おもに金属を材料に、ICなどの小さなものから、船などの大きなものまでをつくります。代表的なものは自動車や家庭電化製品です。
⑤ せんい工業は、きぬ、わた、あさなどの自然のせんいや、ポリエステルなどの化学せんいを材料に、糸や織物をつくります。
- (2) 機械・金属・化学工業以外の工業はすべて軽工業にふくまれます。せんい・食料品のほか、紙・パルプ、とうじき、印刷などです。



3 次の各文の〔 〕内から、正しいことばを選び、解答らんにかきなさい。

- (1) 日本の工場のうち、数が多いのは〔大工場 中小工場〕です。
- (2) 〔せんい工業 機械工業〕では、大工場より中小工場の生産額のほうが多くなっています。
- (3) 中小工場は①〔手作業 大型機械〕による生産が多く、1人当たりの生産額は、大工場より②〔多く 少なく〕なっています。
- (4) 中小工場で働く人の賃金ちんぎんは、いっぽんに、大工場で働く人の賃金より〔低く 高く〕なっています。

(1)	中小工場
(2)	せんい工業
(3)	① 手作業
	② 少なく
(4)	低く

日本の工場のうち、90%以上は中小工場です。大工場は、全体の約30%の従業員数で、全体の約50%の生産額をあげているので、1人当たりの生産額は、中小企業より多く、したがって賃金も高くなります。大型の機械を使って大量生産しているからです。いっぽう、中小企業の中には、すぐれた技術をもっているところも多くあります。

